

# 烏山土木事務所管内図



**1 (主)宇都宮那須烏山線 那須烏山市田野倉**

事業名 快適で安全な道づくり事業  
路線名 主要地方道 宇都宮那須烏山線  
全体計画 延長 L=680m 幅員 W=10.0m  
事業費 C=2,200百万円 (H26年度~R6年度)

本区間は、幅員が狭小で歩道もなく、特にJR烏山線アンダー部分は自動車のすれ違いが困難であるなど、通勤・通学の歩行者・自動車等が大変危険な状況にあります。そのため、アンダー部の拡幅やその直近の田野倉交差点の改良を中心に、抜本的な道路改良事業を推進しています。令和5年度は、田野倉交差点の道路改良及び舗装工事を実施します。

整備状況

**2 国道293号 那珂川町三輪**

事業名 快適で安全な道づくり事業  
路線名 一般国道 293号  
全体計画 延長 L=2,940m 幅員 W=11.25m  
事業費 C=1,000百万円 (R2年度~)

本区間は、第1次緊急輸送道路に指定されていますが、車道幅員が狭く、歩道がない状況です。そのため、平常時・災害時を問わず、安全で信頼性の高いネットワークの確保を目的として、歩道の設置及び道幅拡幅事業を推進しています。令和5年度は用地取得及び道路改良工事を実施します。

整備状況

**3 国道461号 那珂川町大平**

事業名 快適で安全な道づくり事業  
路線名 一般国道 461号  
全体計画 延長 L=960m 幅員 W=11.5m  
事業費 C=1,220百万円 (R2年度~)

本区間は、第1次緊急輸送道路に指定されていますが、当該区間は車道幅員が狭く歩道がない状況です。そのため、それを解消することを目的として、十分な車道と歩道を備えたバイパス整備を推進しています。令和5年度は、橋梁詳細設計業務を実施します。

整備状況

**4 国道294号 那須烏山市大桶下**

事業名 快適で安全な道づくり事業  
路線名 一般国道 294号  
全体計画 延長 L=680m 幅員 W=12.0m  
事業費 C=1,003百万円 (H25年度~R6年度)

本区間は線形が悪く十分な視距が確保できていない状況のため、右折レーンのない交差点や歩道が未整備であり、通勤・通学の歩行者・自動車等が危険な状態にあります。そのため、安全で円滑な交通及び通学路の安全を確保するとともに、広域行政圏の連携を目的として、令和2年度から工事を推進しています。令和5年度は、昨年度に引き続き用地取得及び道路改良工事を実施します。

整備状況

**5 (一)烏山停車場線 那須烏山市中央 国道294号 那須烏山市旭交差点**

事業名 快適で安全な道づくり事業  
路線名 一般県道 烏山停車場線 一般国道 294号  
全体計画 延長 L=980m W=15.0m L=200m W=19.5m  
幅員 C=590百万円 C=930百万円  
事業費 (R1年度~R6年度) (H25年度~R6年度)

本2路線は、第2次緊急輸送道路に指定されていますが、歩道に段差や電柱があり歩行者の支障となっています。そのため、快適で安全な道路環境の創出を目的として、歩道のバリアフリー化、電線類の地中化を推進しています。令和5年度は、中央区間の道路照明設置工事、旭交差点の道路改良及び道路照明設置工事を実施します。

整備状況

**6 (都)3・4・2号 氏家大子線 那珂川町馬頭**

事業名 街路づくり事業  
路線名 馬頭都市計画道路 3・4・2号 氏家大子線  
全体計画 延長 L=465m 幅員 W=16.0m  
事業費 C=750百万円 (H27年度~R7年度)

本区間の周辺には、公共施設や観光施設が立地しており、賑わいある市街地を形成するうえで必要な路線となっています。また、小中学校の通学路に指定されていますが、現道は狭路で歩道が未整備であり、朝夕の通勤通学時間帯を中心に危険な状況となっています。そのため、道路拡幅による歩道整備を行い、誰もが安心して利用できる道づくりを推進しています。令和5年度は、用地取得及び道路改良工事を実施します。

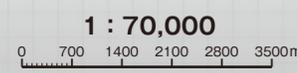
整備状況

**7 (主)那須黒羽茂木線 那珂川町富山**

事業名 道路保全事業  
路線名 主要地方道 那須黒羽茂木線  
全体計画 延長 L=1,100m 幅員 W=6.0m  
事業費 C=497百万円 (H28年度~)

本区間は、道路防災点検の結果、落石により通行車両へ危険を及ぼす恐れのある対策箇所となっています。そのため、安全性向上を目的として、土砂災害防止対策事業を推進しています。令和5年度は、用地取得、法面対策工事及び擁壁工事を実施します。

整備状況



凡 例	
	一般国道
	主要地方道
	一般県道
	計画道路
	通行不能道路
	J R 鉄道
	一級河川
	都市計画区域
	国有林
	用途地域
	堰
	砂防指定地
	急傾斜地崩壊危険区域
	地すべり防止区域
	県立自然公園
	市役所
	町村役場
	学校
	橋
	関係官庁
	水位観測所
	雨量観測所
	情報板(電光式)
	進行視観手動式
	道の駅
	ポケットパーク

**8 大内川 那珂川町大内**

事業名 安全な川づくり事業  
河川名 一級河川 大内川(II期工区)  
全体計画 延長 L=2,400m  
事業費 C=810百万円 (R2年度~)

本区間は、河積の不足のため出水の際には大きな被害が生じる恐れがあります。そのため、氾濫防止を目的として、河積拡大や護岸整備事業を推進しています。令和5年度は、用地測量・調査業務を実施します。

現況

**9 荒川(塩谷) 那須烏山市三箇**

事業名 安全な川づくり事業  
河川名 一級河川 荒川(塩谷)  
全体計画 延長 L=約3,800m  
事業費 C=約2,916百万円 (R5年度~)

本区間は、河積の不足のため、令和元年東日本台風により、堤防の決壊や越水等の被害を受けました。そのため、氾濫防止を目的として、河積拡大や護岸整備事業を推進しています。令和5年度は、測量業務及び設計業務を実施します。

現況

**10 三反畑I-A 那珂川町矢又**

事業名 砂防施設づくり事業  
箇所名 三反畑I-A  
全体計画 待安擁壁工 L=80m 崩落土砂防護工 L=480m  
法枠工 A=3,806㎡  
事業費 C=1,069百万円 (H28年度~R7年度)

本地区は、急傾斜地であり斜面の崩壊により人家や国道293号に甚しい被害を及ぼす恐れがあります。そのため、急傾斜地の崩壊による災害から人家などを守り、安全で安心な生活を確保することを目的として、法枠及び待安擁壁、防護工事を推進しています。令和5年度は、法枠及び待安擁壁工事を実施します。

整備状況

**11 荒川(塩谷) 那須烏山市向田、小倉・藤田**

事業名 災害助成事業  
河川名 一級河川 荒川(塩谷)  
全体計画 延長 L=5,900m  
事業費 C=6,337百万円 (R1年度~R6年度)

本区間は、令和元年10月の台風19号による記録的な大雨に見舞われ、堤防の決壊や越水が発生し、家屋の浸水等、甚大な被害が発生しました。こうした中、本地区では局部的な崩壊後は再度被災する可能性が懸念されており、堤防の嵩上げ等による改良復旧事業を推進しています。令和5年度については、用地取得、築堤及び護岸工事等を実施します。併せて、これまで継続してきた安全な川づくり事業(向田地区)防災・安全交付金による堤防整備にも取り組んでいます。

整備状況

## 令和4(2022)年度の主な成果 Major Achievements

**12 国道294号 那須烏山市中山**

事業名 快適で安全な道づくり事業  
路線名 一般国道 294号 中山  
全体計画 延長 L=766m 幅員 W=11.0m  
事業費 C=638百万円 (H25年度~R4年度)

本区間は、線形が悪く視距がとれない箇所があり、安全な通行の支障となっていました。そのため、平常時・災害時を問わず、広域的、安定的な道路ネットワークの確保を目的として、道路の線形改良を行いました。本事業により、適切な視距が確保され、歩行者の安全を確保することができました。

完了状況

**13 (一)小砂小口線 那珂川町小砂**

事業名 快適で安全な道づくり事業  
路線名 一般県道 小砂小口線  
全体計画 延長 L=1,500m 幅員 W=10.0m  
事業費 C=424百万円 (H25年度~R4年度)

本区間は、那珂川町小砂内から小口内を結ぶ沿道住民の日常生活に欠かすことのできない幹線道路です。道路は狭路で屈曲し歩道もなく危険であったが、歩道を設置したことで歩行者の安全を確保することができました。

完了状況

**14 旭表I-A 那須烏山市旭2丁目**

事業名 砂防施設づくり事業  
箇所名 旭表I-A  
全体計画 延長 L=300m 法枠工 A=6,000㎡  
事業費 C=3,365百万円 (H29年度~R4年度)

本地区は、急傾斜地であり斜面の崩壊により人家や市道に甚しい被害を及ぼす恐れがあります。そのため、急傾斜地の崩壊による災害から人家などを守り、安全で安心な生活を確保することを目的として、法枠工を実施してきました。令和4年度に事業が完了したことにより、急傾斜地の崩壊から人家や市道などを守り、安全を確保することができました。

完了状況